

市役所にお越しの皆様、職員の皆さん、市長の柴崎光子でございます。

柔らかな春の陽射しとともに、市内の桜も美しく咲き誇る季節となりました。新しい年度を迎え、皆様が希望を胸に新たな一步を踏み出されますことを心より応援しております。

さて、昨年を振り返りますと、和光市は市制施行55周年という大きな節目を迎えました。市政の発展に顕著な功績を挙げられた市民の皆様を表彰する記念式典を開催し、和光市の歩みを振り返るとともに、その魅力を後世へと受け継ぐ大変意義深い一年となりました。

これからも和光市が魅力あふれるまちとして発展していくためには、人と人との温かい繋がりと、安心して暮らせる地域コミュニティの存在が欠かせません。

引き続き、地域の拠点を活かし、こどもからシニア世代までが自然に集い、交流できる機会を創出することで、地域社会のさらなる活性化を目指してまいります。

また、昨年からスタートした「和光市こども計画」に基づき、こどもや若者の皆さんの率直な意見をお聴きし、市政へと反映させる取り組みも少しずつ形になってきております。未来を担う世代が自分らしく健やかに育ち、希望を持てる環境づくりは、まちの活力を生み出す源泉です。

今年度におきましても、本市の重要課題である「駅北口土地区画整理事業」を着実に進めるとともに、「イノベーション×ウェルネス」をコンセプトとした「和光北インター東部地区」の賑わい溢れるまちづくり事業を力強く推進してまいります。

さらに、令和7年3月に表明いたしました「和光市ゼロカーボンシティ宣言」のもと、豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐため、市民の皆様や事業者様と手を携え、環境にやさしい持続可能なまちづくりを具体化していく一年としてまいります。

その他、公共施設の適切な保全や、子育て、福祉、教育施策の充実など、多様化する行政課題の解決に真正面から取り組んでまいります。これらの実現には、市役所という組織が一丸となり、風通し良くコミュニケーションを図りながら協力し合うことが不可欠です。

和光市が誰にとっても「住み続けたいまち」となるよう、職員、そして市民の皆様とともに、今年も「さらに一步前へ」進むべく、新たな挑戦を続けてまいりましょう。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年4月1日

和光市長 柴崎 光子